

令和2年9月



よめばやさしくなる  
しゃきょうの  
こうほうし



# 福祉くまの

特集  
生活困窮

# 特集 生活困窮

せいかつこんきゆう



困窮

『困窮』とは一般的に、貧困で苦しむことを指しますが、全国的にも大きな社会問題となっています。「仕事が見つかからない、社会に出られない（ひきこもり等）、病気やケガが治らない」生活困窮に陥る要因は様々ですが、困窮が本人のあきらめや社会からの孤立へとつながり、そこから脱却できなくなる恐れがありますが、大きな課題の一つとして挙げられます。



相対的貧困

「相対的貧困」という言葉をご存じですか？衣食住が確保できない、必要な医療が受けられないといったように、貧困により生きていくことが困難となる「絶対的貧困」に対して、一般的な生活水準と比較して困窮している状態（※）つまり、三度のごはんを食べる、どこかに遊びに出かけるといった当たり前の生活行為が難しい状態を「相対的貧困」といいます。

（※）等価可処分所得の中央値の半分（年収122万円）未満の状態。



生活困窮に対する支援

日本には「生活保護」と呼ばれる制度が整備されています。前述の必要医療が受けられないといった、生きていくことが困難な状況を回避するため、最低限度の生活を保障し、自立を助長する制度です。しかし、生活保護にまでは至らない相対的貧困のケースは多く、その方たちへの支援も重要です。そこで平成27年4月より、生活に困窮する方が自立して生活できるように「生活困窮者自立支援制度」がスタートしました。仕事に関することや、



キマッ♡

家計の立て直しに関する、住居確保に関することや子どもの学習支援に関する事など、専門の支援員が中心となって、自立した生活のための支援が行われます。熊野市では、熊野市役所内の福祉事務所に相談員が配置され、自立相談事業が実施されています。



市内社会福祉法人と社協の支援事業

また、熊野市では市内5つの社会福祉法人（紀和会、杏南会、清光会、ひまわり会、熊野市社会福祉協議会）による協同事業（食糧及び物品提供事業）や熊野市社会福祉協議会による事業（資金貸付、食糧提供事業、衣装貸与事業等）など、生活困窮世帯を対象とする支援事業を実施しています。事業の詳細はホームページに掲載しています。※4ページのQRコードでアクセスしてください。



当たり前の大切さ

例えば、「友達とハンバーガーを食べに行く」とします。最低限度の生活を考えれば必要のないことも

しませんが、友達との関係維持やネットワークを保つためにはとても大切なことではないでしょうか。社会生活を送るためには、ハンバーガーを食べに行くという行動も必要なのかもしれません。それはつまり、生活の質を向上させるということですが、困窮に陥る要因は様々であり、誰にも起こりうることです。前号特集記事「地域福祉」においても述べましたが、誰しもがちよつとしたことから苦しい状況に陥ってしまう可能性があります。そこで大切なことができるように手を差し伸べることであり、助けを必要とする方が安心して助けを求められることができる地域づくりなのです。熊野市社会福祉協議会は、全ての人々がひとりの住民として生活の質を向上しつつ、当たり前の生活を送れるよう、これからも他機関と連携しながら支援活動を実践していきます。



おいしい♡



やりました。

7/16

# 生活交流会

御浜町福祉健康センター



今回は「七夕飾り作り」。皆さん思い思いの短冊を一生懸命つくりました。願いが叶いますように。



やります。

## 熊野市社会福祉大会

社会福祉の発展に功績のある方々への顕彰を行うため「第8回熊野市社会福祉大会」を開催します。

◆日時 令和2年10月29日(木)

13時30分開会

◆会場 熊野市民会館

## 令和2年度 各地区敬老会の実施について

新型コロナウイルスの感染が都市部を中心に急速に再拡大し、まだまだ予断を許さない状況にある中、熊野市社会福祉協議会では敬老会を主催する各地区社協に対して「敬老会の開催に向けた基準（感染対策等）」を示させていただきました。新たな様式を取り入れながらの生活がスタートしたばかりで、それが当然といえるほど一人一人に根付くまでにはまだまだ時間がかかることと思われ、そんな状況から招待者やスタッフの皆様へ安全と安心を第一に優先し、敬老会の開催を断念される地区が多くあります。一日も早い収束を願うとともに、皆さまのご理解を何卒お願いいたします。



## ボランティアセンター情報誌 no.86

みんな  
いっしょに  
おおきなあれ

# いな



イメージキャラクター  
「いな」

熊野市ボランティアセンター  
登録ボランティア数  
団体：30 個人：17名  
合計：1,481名  
令和2年8月31日現在

## 手話のボランティア養成講座



7月26日(日)、「手話のボランティア養成講座」を開催しました。講師には、手話サークル竹の子の井奥つな子さんと日浦勲さんをお招きし、とても楽しく勉強しました。参加者は11名で、ちびっ子ボランティアグループのみなさんも参加されました。初めは恥ずかしがっていた子どもたちも、ユーモアたっぷり、丁寧に指導くださる講師のおかげで緊張もほぐれ、メキメキと上達しました。アンケート結果では、手話サークルに興味を持っていた参加者も多数いたことから、ボランティアグループの充実にもつながればうれしいです(^\_^)

これからも、楽しい講座をたくさん企画しますので、みなさんご参加下さい(^\_^)



熊野市ボランティアセンター  
(熊野市社会福祉協議会内)

所在地：熊野市井戸町 1150 番地  
でんわ：0597-89-5000  
FAX：0597-89-3068  
担当：中井里美

無料法律相談

- ◆開設日 9月15日(火)
- ◆10月20日(火)
- ◆相談員 片山眞洋 弁護士
- ◆会場 保健福祉センター
- ◆時間 13時から(一人15分)
- ◆相談内容 民事全般
- ◆(相続、離婚、雇用、他)
- ◆予約 前日の15時まで
- ◆担当 地域福祉係 坪田



リサイクル情報

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲ってほしい」という品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。リサイクルに関する情報は、熊野市保健福祉センター掲示板のホームページのページでどうぞ。

◆担当 地域福祉係 榎本



コチラから



赤い羽根共同募金 はじまります

今年も10月より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が開始されます。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人が接する機会を減らすことが求められ、例年通りの募金運動が難しい状況です。人と人とのつながりで成り立っている共同募金運動にとって、大変困難な状況ではありますが、感染症対策をしっかりと講じ、安全を優先した上で、出来る限りの運動を実施したいと考えておりますので、ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



あたらしいしょくいん

所属 地域福祉課 地域福祉係

都竹郁氏

9月からお世話になることになりました。福祉という仕事は未経験ですが、少しでも地域の皆様の為になれたらと思います。これから宜しくお願いいたします。



くまちがいがし

今回も簡単すぎるかなあ。答えは8つ！  
抽選で3名の方にプレゼント！応募は、次の3つから。



- ①はがきに文字で答えを書いて送る
  - ②この絵に記入して、はがきに貼って送る
  - ③ //、写真を撮って「おてがみ」から送信する
- はがきの送り先 ☎ 519-4324 熊野市井戸町1150番地 熊野市社会福祉協議会くまちゃん宛  
「おてがみ」の送り方 ☎ 熊野市社協 HP「おてがみ」から。  
または、このQRコードから。

令和2年9月29日(火)まで

前回出題の当選者ですが、うれしいことに応募がたくさんありまして・・・、思い切って5名にします！

戸嶋嗣浩さん、西畑たかおさん、平野日葵さん、森下美純さん、山本英さんでした！おめでとうございます！！

オススメ



前回の答え



あともがき

前号ここで、「皆さんにお見せできるものを」と宣言しましたが・・・間に合いました！！  
「LINEスタンプ」ボクくまちゃん4」発売です！！しかも今回は、ソフトを駆使して、動くスタンプです。(ケッコーしんどかったー)



動くことで、更に皆さんに愛されると信じて一生懸命つくりました。LINEアプリを使用中の方、ぜひダウンロードして、楽しい会話にきましょう。混ぜてあげてください。価格は250円と動かないスタンプに比べると少し高めですが、動くかわいくまちゃん24種類セットですので、缶ジュース2本買ったと思えば・・・とはいえ、こんな時期ですので、くれぐれも水分補給も忘れず！詳しくはホームページで確認できます。※このページ右下のQRコードからいきなり買っていただけの方は、このQRコードからアクセスしてください。みなさん応援よろしくおねがいします。(あきひと)

